



2024年3月期 第2四半期 決算補足説明資料



株式会社コア
2023年10月30日



決算概要

決算概要

決算概要

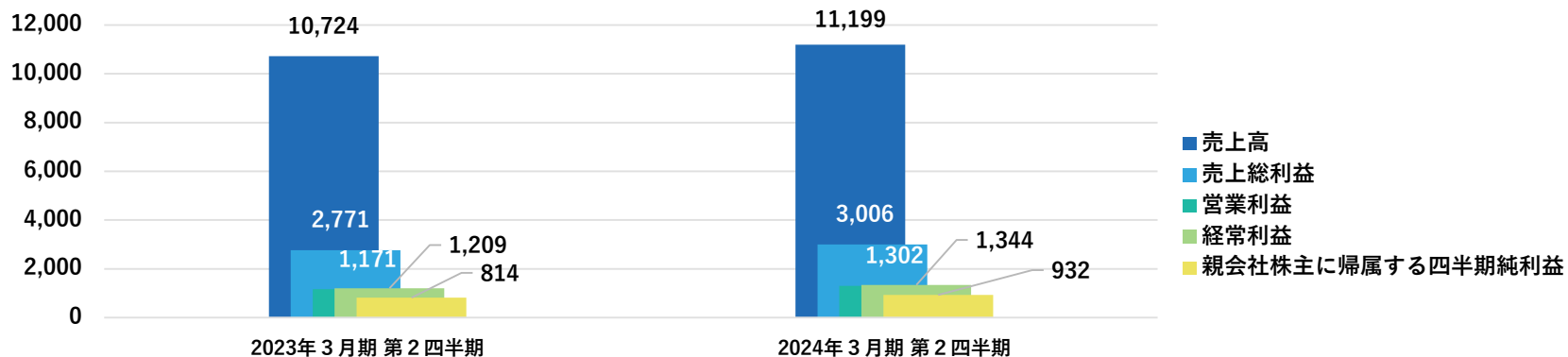
科 目	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期	
	金額	前年比	金額	前年比
売上高	10,724 百万円	102.7%	11,199 百万円	104.4%
売上総利益	2,771 百万円	107.7%	3,006 百万円	108.5%
営業利益	1,171 百万円	113.6%	1,302 百万円	111.2%
経常利益	1,209 百万円	110.2%	1,344 百万円	111.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	814 百万円	109.5%	932 百万円	114.4%
受注残高	7,405 百万円	106.1%	8,787 百万円	118.7%

決算概要

決算概要

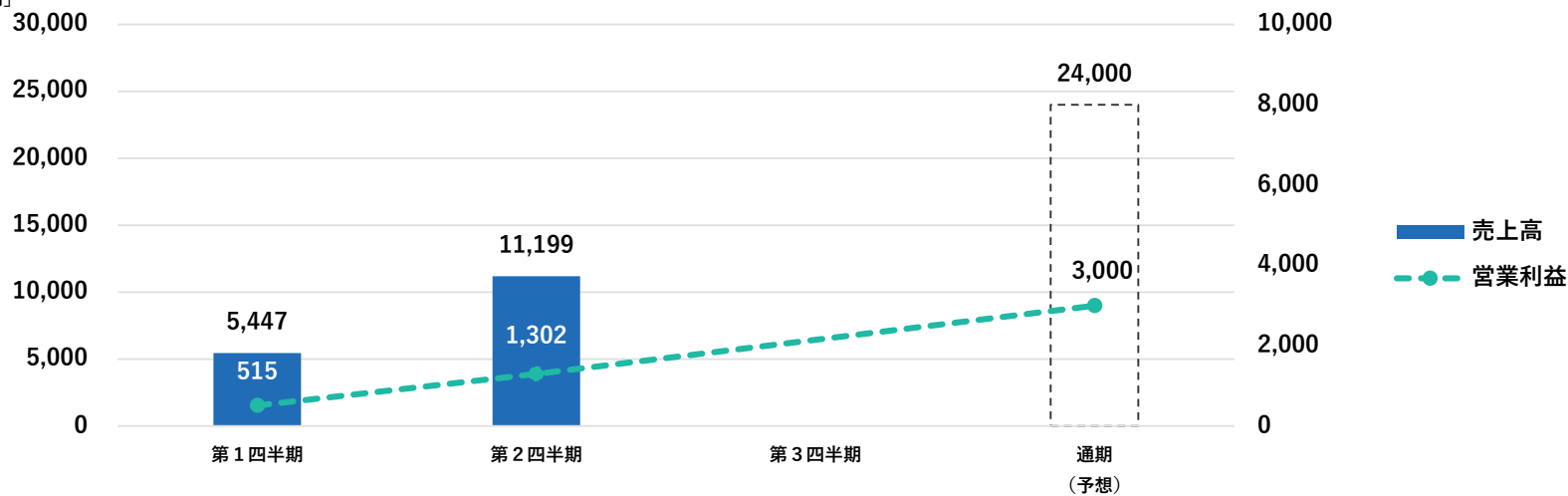
前年同期比

[百万円]



2024年3月期の連結業績

[百万円]



決算の増減要因

売上高

➤ 前年比**104.4%**

- ⊕ 要因 未来社会 医療Solにおいて電子カルテソリューション「i-MEDIC Plus」シリーズの販売が伸長
- ⊕ 要因 未来社会 公共Solにおいて「Polisys」を中心としたデータ利活用ソリューションが堅調
- ⊕ 要因 産業技術 IoT (AI) Solにおいて製造メーカー向けソリューションが堅調
- ⊕ 要因 産業技術 GNSS Solにおいて「Cohac[∞] Ten+」等の高精度測位技術を活用したソリューションが伸長
- ⊕ 要因 産業技術 DXインサイトSolにおいて「RPA(Robotic Process Automation)」案件を中心に伸長
- ⊕ 要因 顧客業務 金融機関向けの保守案件や半導体関連装置に関する業務が伸長
- ⊕ 要因 顧客業務 信販向けのシステム開発が伸長
- ⊖ 要因 顧客業務 流通系のWeb開発案件の縮小

営業利益

➤ 前年比**111.2%**

- ⊕ 要因 産業技術 ソリューション案件の増加により利益拡大
- ⊖ 要因 未来社会 公共Solにおいて一部不採算案件が発生

決算概要

事業区分別の業績

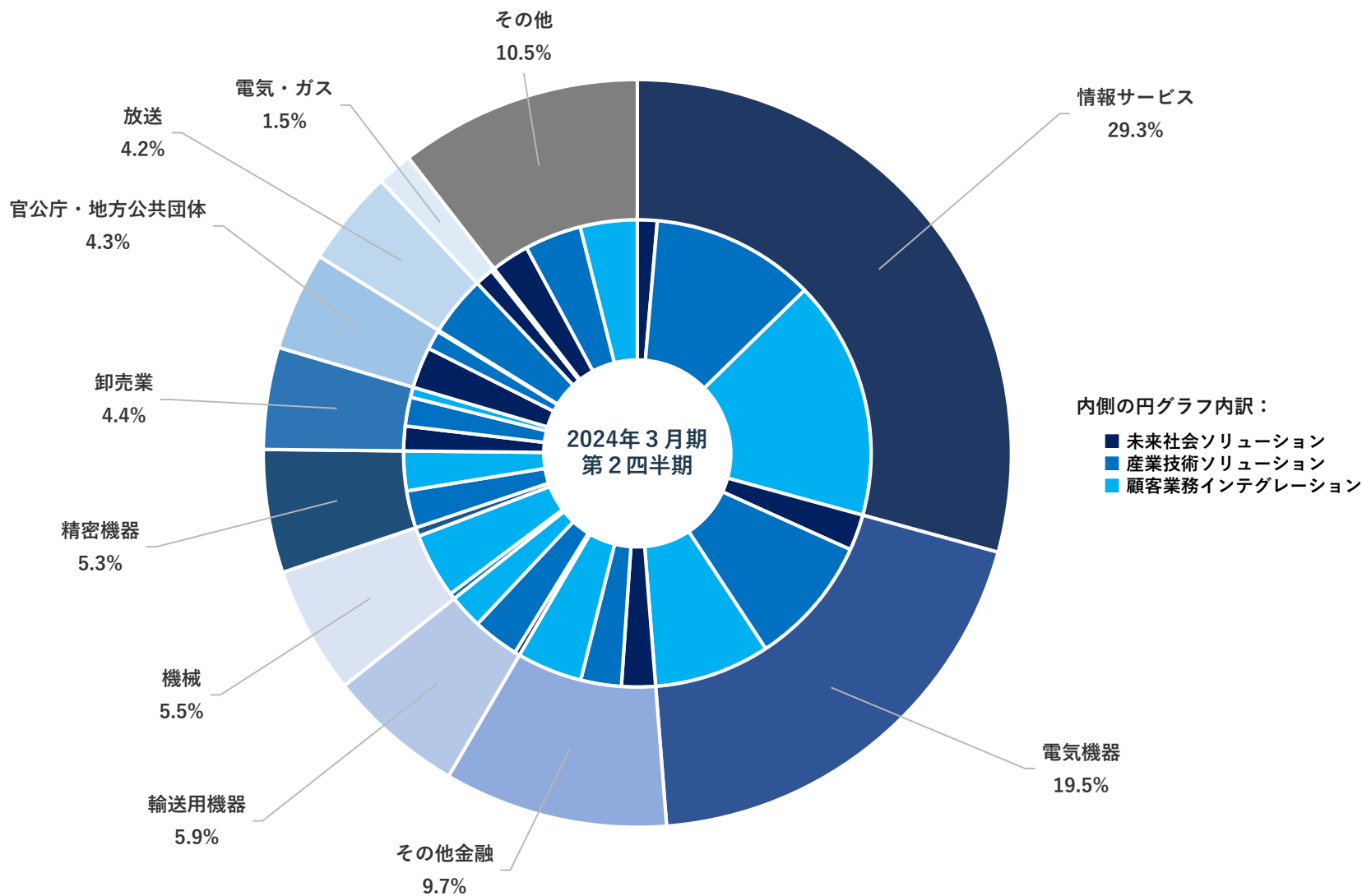
		2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期	
		売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
未来社会ソリューション事業	公共 Sol	466 百万円	197 百万円	530 百万円	145 百万円
	医療 Sol	323 百万円	94 百万円	415 百万円	140 百万円
	エネルギー Sol	516 百万円	158 百万円	491 百万円	151 百万円
	その他 Sol	498 百万円	154 百万円	479 百万円	142 百万円
	合計	1,805 百万円	604 百万円	1,917 百万円	579 百万円
産業技術ソリューション事業	IoT(AI) Sol	561 百万円	216 百万円	614 百万円	231 百万円
	メディア Sol	653 百万円	69 百万円	614 百万円	78 百万円
	GNSS Sol	97 百万円	39 百万円	188 百万円	66 百万円
	DXインサイト Sol	98 百万円	22 百万円	139 百万円	35 百万円
	その他 Sol	2,659 百万円	794 百万円	3,374 百万円	1,041 百万円
	合計	4,071 百万円	1,142 百万円	4,930 百万円	1,455 百万円
顧客業務インテグレーション事業		4,848 百万円	1,025 百万円	4,351 百万円	971 百万円

決算概要

連結貸借対照表

	2023年3月期 期末			2024年3月期 第2四半期		
	金額		前期末比	金額		前期末比
流動資産	13,128	百万円	113.1%	13,329	百万円	101.5%
固定資産	8,592	百万円	102.9%	8,683	百万円	101.1%
資産合計	21,720	百万円	108.8%	22,013	百万円	101.4%
流動負債	5,775	百万円	106.8%	5,606	百万円	97.1%
固定負債	746	百万円	79.5%	704	百万円	94.4%
負債合計	6,521	百万円	102.8%	6,310	百万円	96.8%
純資産	15,198	百万円	111.6%	15,702	百万円	103.3%
負債・純資産合計	21,720	百万円	108.8%	22,013	百万円	101.4%

売上高の業種別割合





中期経営計画の進捗状況



第14次コアグループ中期経営計画の要旨

第14次コアグループ中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）

Vision
2026

ソーシャル・ソリューションメーカー

ICTで社会課題を解決し、価値を共創する企業として
SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）を実現

ソーシャル・ソリューションメーカーとは

自社の特長を最大限に活かしてICTサービス（技術と経験）で社会課題を解決すること

基本戦略

基本方針

事業戦略

全国の顧客に均一なサービスを提供

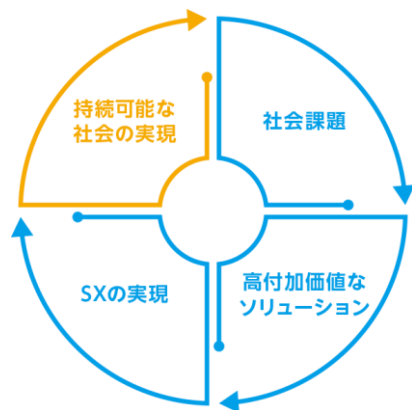
グロースエンジン

ビジネスソース

未来社会
ソリューション事業

産業技術
ソリューション事業

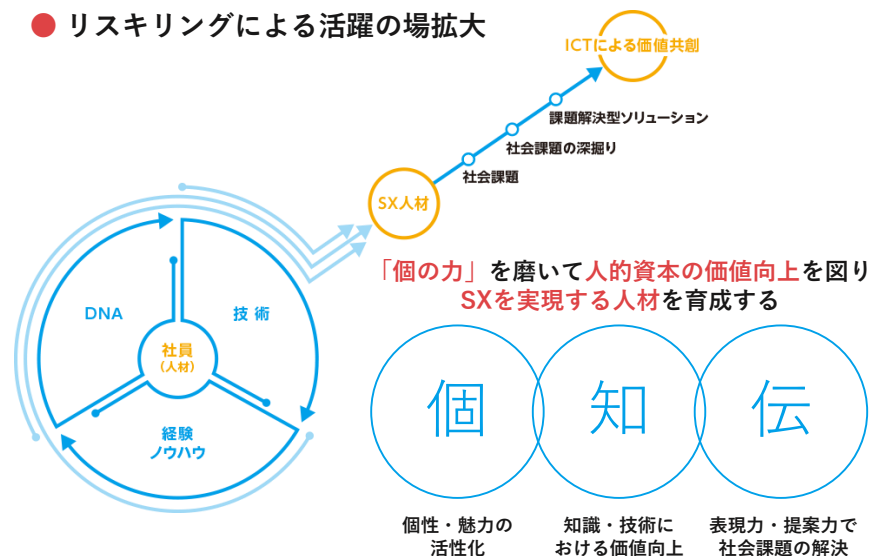
顧客業務
インテグレーション事業



人材戦略

社会課題を可視化し、高付加価値を創出するSX人材

- アップスキリングによるソリューション力向上
- リスキリングによる活躍の場拡大



財務戦略

研究開発

知的財産

人材育成

M&A

2026年3月期 ゴール

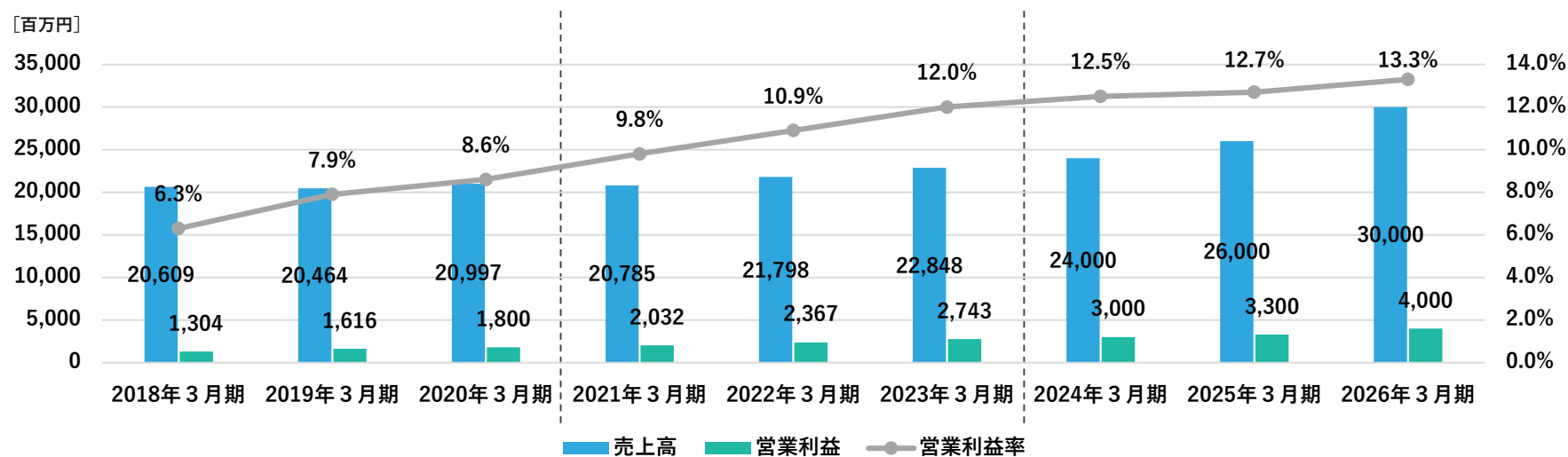
	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	240億円	260億円	300億円 (M&A含む)
営業利益	30億円	33億円	40億円
営業利益率	12.5%	12.7%	13.3%

基本戦略

前々・前計画からの経営指標推移

(百万円)

	第12次			第13次			第14次		
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	20,609	20,464	20,997	20,785	21,798	22,848	24,000	26,000	30,000
営業利益	1,304	1,616	1,800	2,032	2,367	2,743	3,000	3,300	4,000
営業利益率	6.3%	7.9%	8.6%	9.8%	10.9%	12.0%	12.5%	12.7%	13.3%

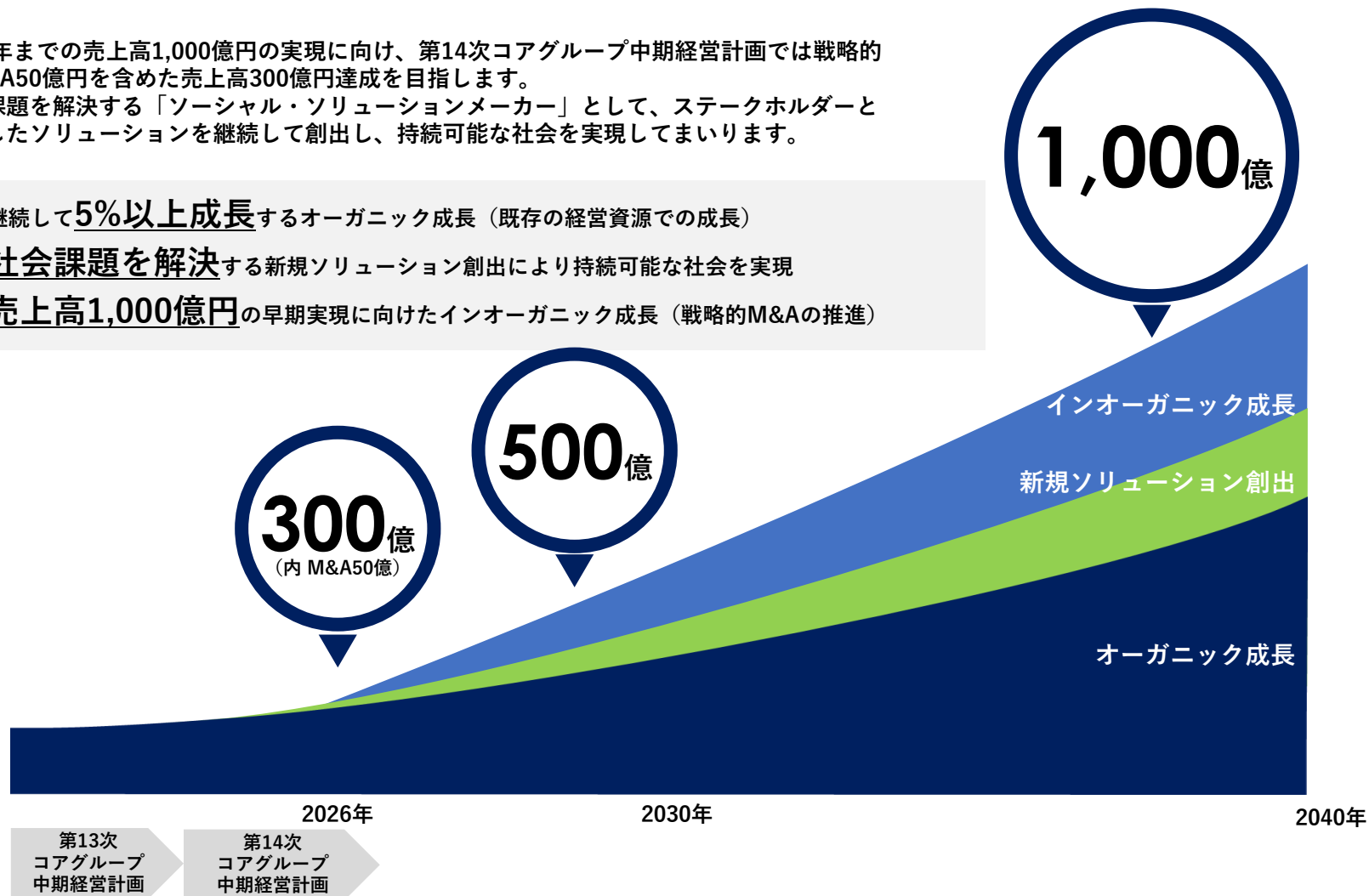


1,000億企業を目指して

2040年までの売上高1,000億円の実現に向け、第14次コアグループ中期経営計画では戦略的なM&A50億円を含めた売上高300億円達成を目指します。

社会課題を解決する「ソーシャル・ソリューションメーカー」として、ステークホルダーと共創したソリューションを継続して創出し、持続可能な社会を実現してまいります。

- 継続して**5%以上成長**するオーガニック成長（既存の経営資源での成長）
- **社会課題を解決**する新規ソリューション創出により持続可能な社会を実現
- **売上高1,000億円**の早期実現に向けたインオーガニック成長（戦略的M&Aの推進）



事業戦略

- ・ **事業セグメント**の再定義による事業の選択と集中及び顧客課題から社会課題解決へスケールアウト
未来社会ソリューション事業、産業技術ソリューション事業、顧客業務インテグレーション事業
- ・ **コアSXエコシステム**による社会課題の深掘り
- ・ **コアSXフレームワーク**による新しい価値の創出
- ・ **自社技術、業務ノウハウの活用**
社会課題の見える化⇒戦略投資によるソリューション化⇒全国へ均一ソリューションの提供⇒社会課題解決
- ・ **先進技術による新規市場創出**
- ・ **情報・データの利活用**（コア営業DX、コア企業プラットフォームの推進）

人材戦略

- ・ **SX人材の育成**
知識の最大化（社会課題の見える化力、既存業務フローの習熟度の最大化）
能力・技能の向上（顧客課題の分類・顕在化能力、ドキュメント力）
- ・ **人材の最適配置と活性化**
組織を超えた人材交流の場の提供
- ・ **数の確保**

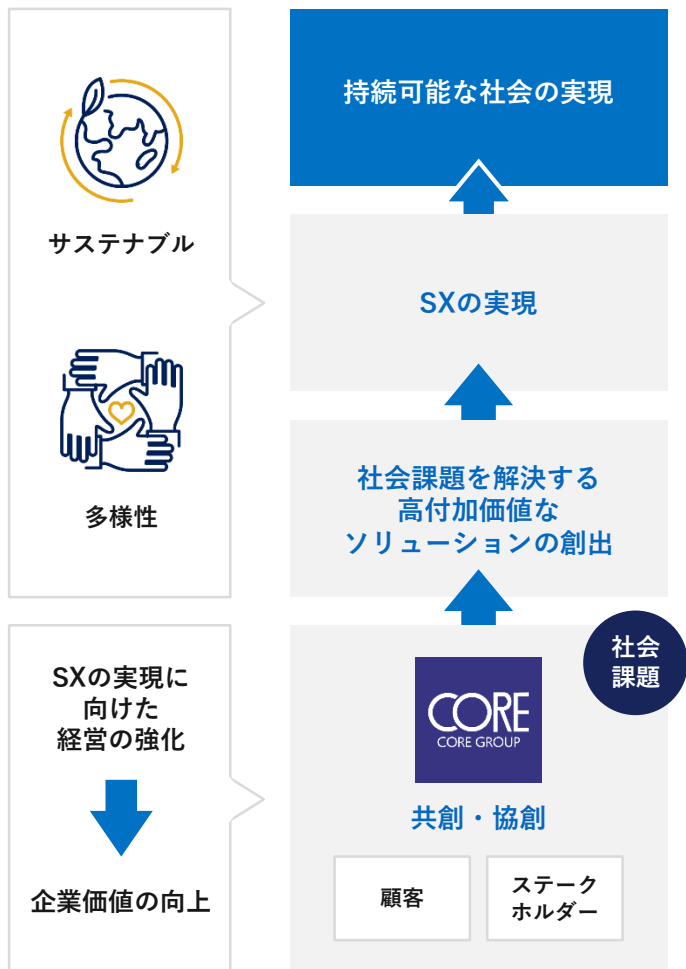
財務戦略

- ・ **研究開発**の戦略投資と成果の見える化
- ・ 事業戦略に沿った**M&A**（技術・人材）
- ・ **知的財産**の新規取得

分野別戦略

わたしたちのビジネス

価値観の多様化・産業構造・事業環境

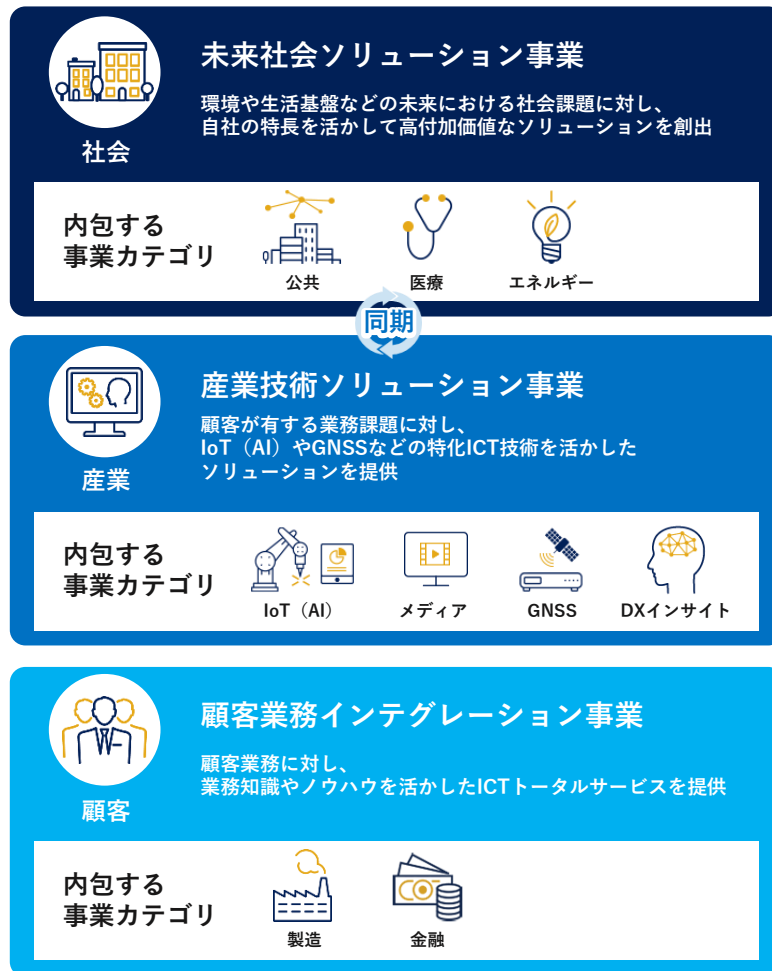


グロースエンジン

ビジネスソース

競争優位性の確保

顧客課題への対応



中期経営計画へのとりくみ状況

事業戦略

人材戦略

財務戦略

事業戦略

- ・ 【未来社会ソリューション事業】防災に関するソリューションの市場ニーズのための顧客ヒアリングが活発化。SDGs目標11「住み続けられるまちづくりを」を実現するためのソリューションを強力的に推進。
- ・ 【産業技術ソリューション事業】リアルタイム映像合成ソリューションの創出に着手。市場調査を兼ねた展示会への出展で利用拡大に期待。
- ・ 【産業技術ソリューション事業】資材管理の業務課題を受け、衛星を活用した位置情報とRFID(*)を組み合わせた新規ソリューションを推進。展示会にて市場ニーズを模索。
- ・ 【顧客業務インテグレーション事業】金融分野において勘定系システムや基幹システムのDX化に関する案件が引き続き増加。製造分野では、物流や交通、通信インフラ系の業務に対するAI技術を用いたソリューションの実証実験が継続中。

(*) RFID (Radio Frequency Identification) : 電波を用いてICタグの情報を非接触で読み書きする自動認識技術

人材戦略

- ・ 事業戦略を牽引する人材の育成に関する社内認定制度を開始。今後、能力・技能の向上を目指した育成活動を実施予定。
- ・ 健康マネジメントの推進に向けた計画策定や、ワークライフバランス関係の制度構築などの動きが継続。
- ・ 社員のエンゲージメント向上について、社員全員参加型の企業文化継承活動にて検討を推進。

財務戦略

- ・ グループ結成50周年を記念した、1株当たり5円の記念配当を実施予定。そのため、年間配当は1株当たり50円となる見込み。

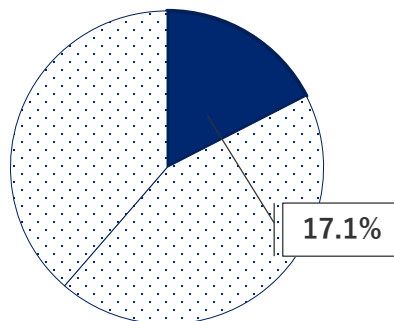


未来社会

[百万円]

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年比
売上高	1,805	1,917	106.2%
営業利益	248	249	100.2%

[セグメントごとの売上高構成比]



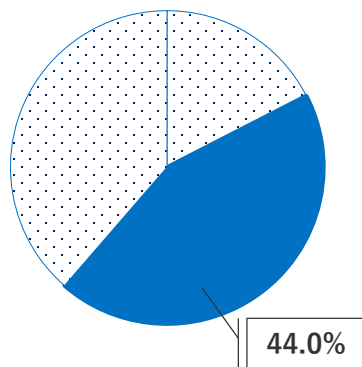
- デジタル社会関連の公共案件受注が引き続き堅調。自治体における情報インフラ活用の動きが活発化。
- 介護老人保健施設や介護医療院を併設する療養型病院等における防災・BCPでの情報管理や情報共有に関する提案が好調。



産業技術

[百万円]

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年比
売上高	4,071	4,930	121.1%
営業利益	467	613	131.3%



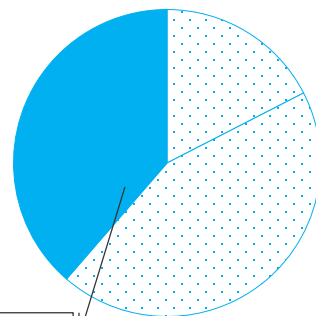
- 製造業を中心としたソリューションが引き続き好調。特化技術、業務ノウハウを生かした提案が結実。
- GNSS分野では、みちびきのCLAS（センチメートル級測位補強サービス）に対応したドローンを活用したインフラ点検業務ソリューション「ChoronoSky Eyes」の引き合いが好調。



顧客業務

[百万円]

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年比
売上高	4,848	4,351	89.7%
営業利益	455	440	96.6%



- 金融業を中心とした開発案件が引き続き好調に推移。新規案件引き合いもあり、今後も好調を維持する見通し。
- 事業内容の見直しや要員配置転換の施策により利益向上。

医療・介護統合型電子カルテシステム「i-MEDIC Plus++」

- 医療DXの流れを受け、4つの追加機能開発が8月までに全て完了、複数施設への導入が進む。
【追加機能】マイナ保険証対応、オンライン資格確認、特定検診参照、薬歴参照
- 運用が開始された電子処方箋に、i-MEDIC Plus++も対応。

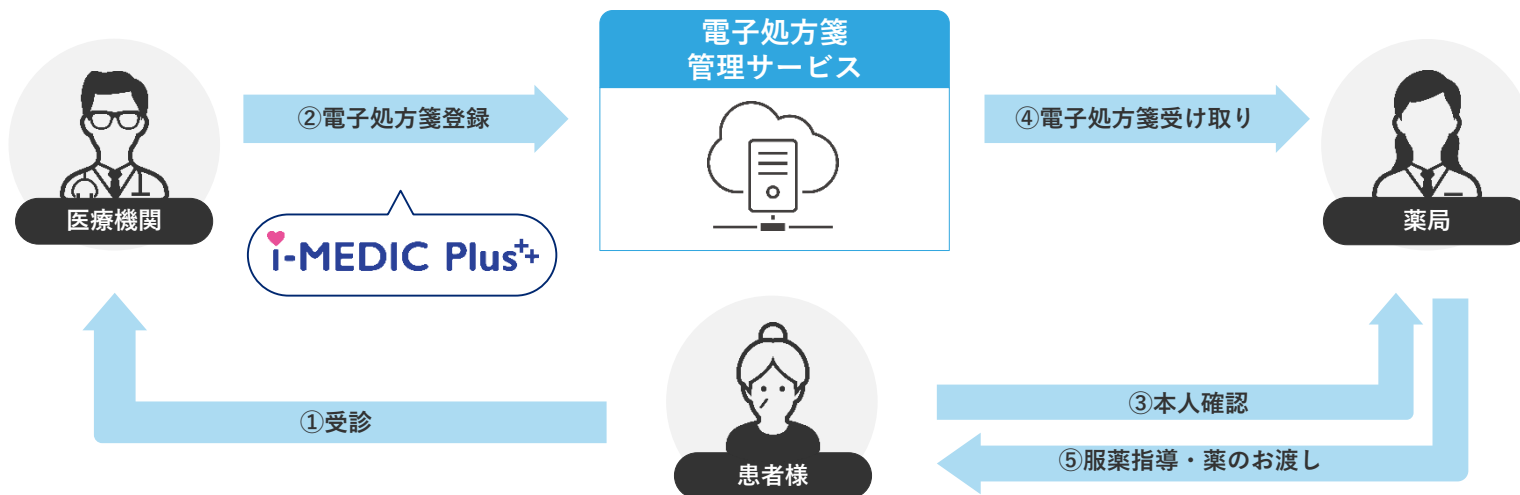
電子処方箋管理サービス 概要

電子処方箋管理サービスに対応

直近の患者情報を踏まえた診察・処方

重複投薬の確認

併用禁忌薬剤の回避



制御資産管理ソリューション

- 社会インフラ企業からの実証試験を受注

経済安全保障推進法(*)の施行により、脆弱性へのサイバー攻撃対策として、制御システム等の導入・管理の取り組みが活発化、資産管理のニーズが高まっている。

実証試験の結果によって得られた課題を解決し、実用的なソリューションへ昇華。

制御資産管理ソリューション 概要

経済安全保障推進法に基づき安定的な役務の提供が求められる

電気 ガス 水道 石油 鉄道 空港 など14業種

資産情報管理

運用ルール共通化



ソフトウェア
情報管理

脆弱性の早期検知

制御系ネットワーク上の機器情報や付帯情報を一元管理
脆弱性を早期に検知しシステムの安定稼働を実現

課題

資産管理の網羅性・運用ルール統一化

紙媒体による手作業管理・運用ルールの属人化

脆弱性の早期対策

管理者の個別対応による脆弱性調査の遅れ

対策

資産管理のシステム化

セキュリティ観点の管理と運用ルール共通化

脆弱性の抽出

脆弱性箇所の見える化と通知

効果

システムの安定稼働

サイバー攻撃に対する予防保全

ソリューションに求められる安定性・可用性の向上

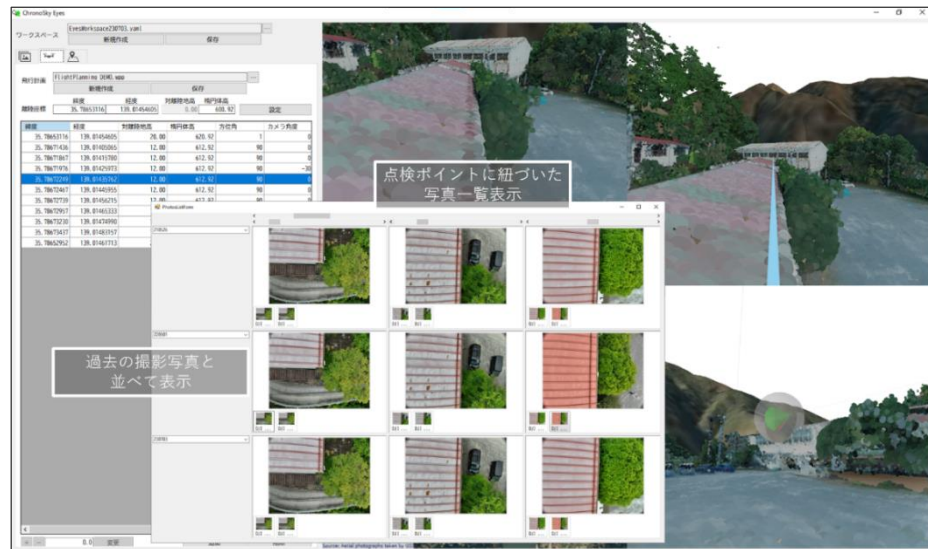
→ 人々の安心・安全な暮らしに貢献

(*) 特定社会基盤役務の安定的な提供確保に関する制度の運用開始が令和6年春頃に見込まれる

目視外点検見える化ソリューション ChronoSky Eyes

- ドローン撮影画像からの3次元データ作成、3次元データからの飛行ルート設定によって、簡単に近づけない場所での点検を可能とする「目視外点検見える化ソリューション ChronoSky Eyes」を7月末にリリース。
- 立ち入りが困難な場所や携帯電話圏外でのインフラを点検する案件を複数受注。実案件からのフィードバックにより、継続的に利用いただけるソリューションへと改良を行う。

目視外点検見える化ソリューション ChronoSky Eyes、概要



3次元地図を生成することで点検対象物に近接するドローン点検を実現



貢献するSDGs



IoT (AI)

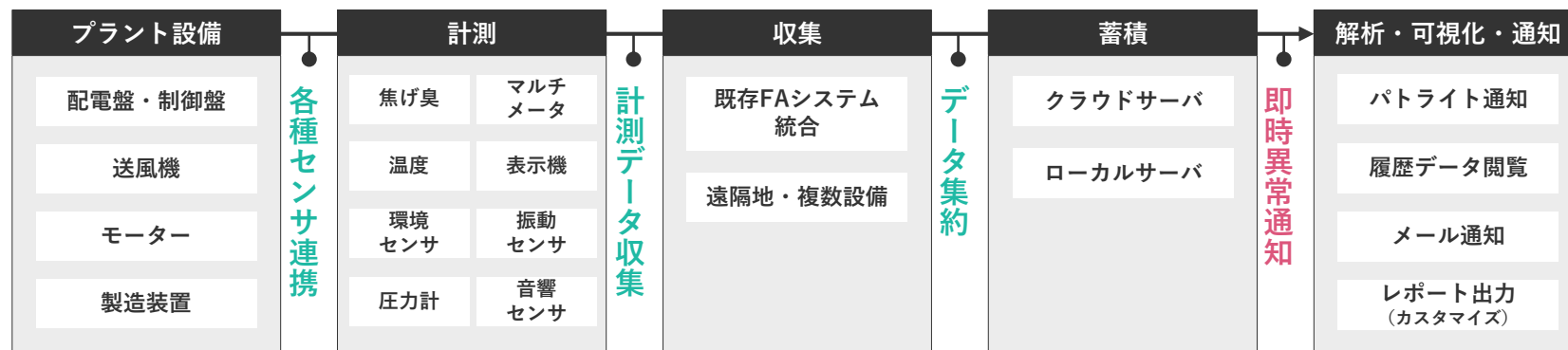


産業技術

スマート遠隔保全ソリューション

- センサ連携や設備情報の一元化、状態監視・履歴データの閲覧でプラント設備保全の自動化をサポートし、安定操業と生産性の向上に貢献するスマート遠隔保全ソリューション。
- 今期は大型プラントを中心に引合が活発化し、新規市場開拓を強力に推進。
- プロモーション活動を強化することで、販路の拡充を実施。

スマート遠隔保全ソリューション 概要



各種センサ連携

危険エリアの自動検査
24/365の無人監視

ロケーション管理

定期点検コスト削減
稼働状態の最適化

既存FAシステム統合

設備稼働状態の一元管理
複数PLCの通信プロトコル対応

状態管理・履歴データ閲覧

設備異常の早期検知
技術伝承・人的資源効率化

プラント設備データの一元管理により、設備保全の自動化をサポート
安定操業と生産性の向上に貢献

- 健康マネジメント推進の一環として、健康経営優良法人認定制度取得に向けた計画を策定し継続して推進中
- ワークライフバランス実現に向けた柔軟な働き方ができる制度の導入を引き続き検討（育児、介護関連等）
- 社員エンゲージメント向上に向けた指標の整備（エンゲージメントサーベイの導入）
- 社会課題を解決し、価値を共創する人材となるSX人材に関する社内認定制度をスタート
- 健康保険組合連合会東京連合会が実施する健康優良企業認定制度において「銀の認定」の継続認定に向けた当社のとりくみ内容の拡充

健康経営優良法人認定制度とは

従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」への取り組みや成果が、特に優良な法人に対する認定制度

認定取得に向けた取り組み

健康経営推進体制の構築

健康診断の受診率向上施策

生活習慣改善施策

産業医との連携強化

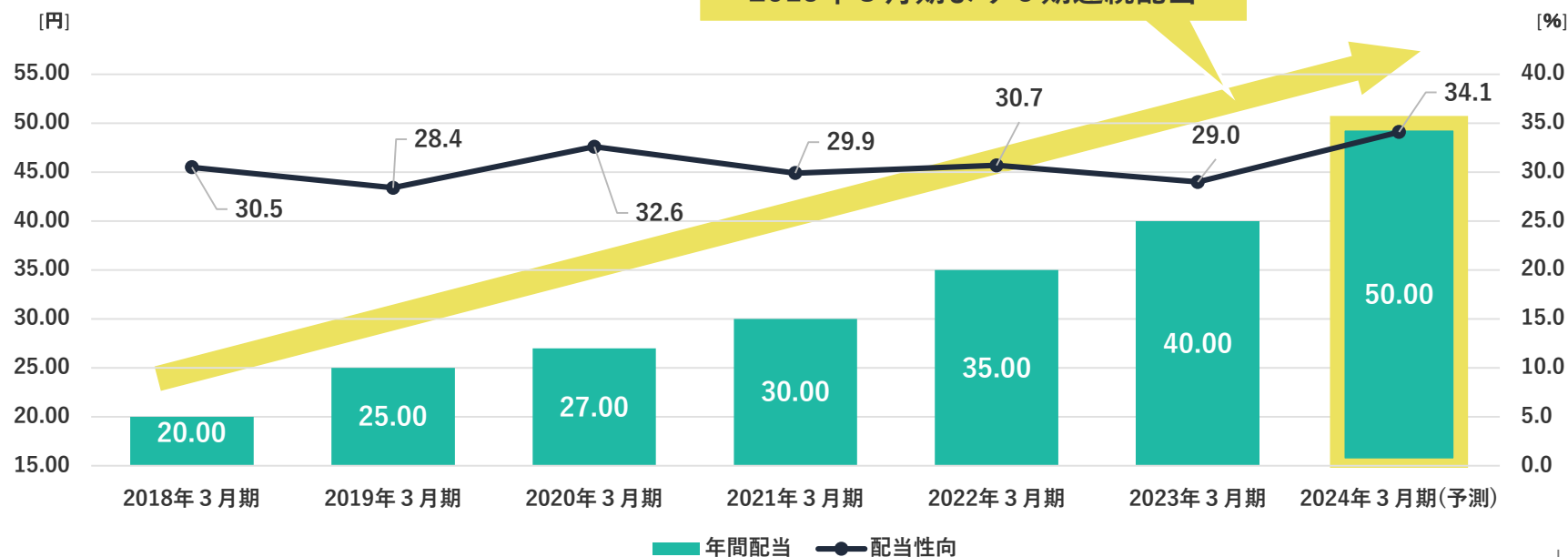
健康経営推進計画

取り組み内容	2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
健康経営推進体制の構築		▶										
健康診断の受診率向上施策			▶									
生活習慣改善施策					▶							
産業医との連携強化					▶							

- グループ結成50周年を記念して2023年9月30日を基準日とし、1株当たり**5円**の記念配当を実施予定。
これにより、2024年3月期の年間配当は1株当たり**50円**となる見込み。

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期 (予測)
年間配当	20.00 円	25.00 円	27.00 円	30.00 円	35.00 円	40.00 円	50.00 円
配当性向	30.5 %	28.4 %	32.6 %	29.9 %	30.7 %	29.0 %	34.1 %

配当の推移



本資料に含まれる計画や業績見通し等は、現時点における情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、今後の経済動向や市場環境等の様々な条件・要素により変動する可能性があります。

そのため、実際の業績がそれらの記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。

株式会社コア

〒 154-8552 東京都世田谷区三軒茶屋1-22-3 コアビル

 03-3795-5111

 www.core.co.jp